

「農」の専門部会
～調査検討経過について～

- 1 「農」の専門部会～調査検討経過について～ P 1
- 2 課題解決のための調査検討シート P 3
(食育を通じての交流)
- 3 農業体験、食育を通じての交流イメージ P 4
- 4 課題解決のための調査検討シート P 5
(直売所を通じての交流)
- 5 課題解決のための調査検討シート P 6
(市民農園及び援農を通じての交流)

「農」の専門部会～調査検討経過について～

区 分		調査検討内容等
会議名	年月日	
第3回区民会議	18.12.22	・専門部会の設置を決定
第1回専門部会	19.1.16	・正副部会長の選出 ・部会名称の決定 ・調査事例の絞り込み (優先順位の決定→事例③から検討)
第2回専門部会	19.2.14	・事例③の調査検討
[校長会へアンケート実施依頼]	19.2.27	・小学校校長会に出席し、アンケートを依頼
[アンケート実施]	19.3.6	・小学校あてアンケート依頼
第3回専門部会	19.3.8	・事例③の調査検討
第4回区民会議	19.3.22	・調査検討経過の報告
[アンケート回収]	19.3.28	・アンケート回答期限
第4回専門部会	19.4.19	・事例③の調査検討
第5回専門部会	19.5.9	・事例③の調査検討
[王禅寺小訪問]	19.5.15	・事前調査の実施(事務局)
第6回専門部会	19.5.22	・事例③の調査検討
[校長会へアンケート結果報告]	19.5.29	・小学校校長会に出席し、アンケート結果を報告
第5回区民会議	19.6.6	・調査検討経過の報告
第7回専門部会	19.6.11	・事例③の調査検討
[王禅寺小訪問 (部会長、委員2名)]	19.7.2	・提案内容(交流イメージ)の説明 ・学校にニーズ調査を依頼 ・学校農園の現地確認
第8回専門部会	19.7.9	・事例③の調査検討 ・次に調査検討する事例の選定
[王禅寺小回答]	19.7.24	・ニーズ調査回答
第9回専門部会	19.8.9	・事例③の調査検討 ・事例①、②の調査検討→事例②から優先的に検討
[王禅寺小関係者]	19.9.3	・地元町内会、関係者へ説明
第10回専門部会	19.9.6	・事例③の調査検討 ・事例②の調査検討
[王禅寺小訪問 (正副部会長)]	19.9.19	・具体的な取組内容の検討

事例① 市民農園 及び援農を通じ ての交流	事例② 直売所を通 じての交流	事例③ 食育を通じた 交流
・現状の取組等の把握	・現状の取組等の把握	・現状の取組等の把握
		・小学校へのアンケートの実施→内容の検討 ・関係者からの意見聴取 ①体験農業実行委員会 ②JAセレサ川崎
		・課題解決策のアイデアの検討
		・審議事例として決定 ・アンケートの実施決定
		・アンケート結果を受けての今後の方向性の検討
		・モデル校の選定 ・モデル校に対する事前調査内容の検討
		・モデル校での取組方法の検討 ・「農」のアイデアシートの検討
		・王禅寺前小学校でのモデル実施の決定
		・学校への提案内容の検討
		・学校訪問結果を受けての今後の進め方の検討
・現状の把握 (法的に困難な問題が多い)	・JA大型農産物直売所(セレサモス)の概要把握 ・大型農産物直売所を通じた交流の検討	・学校のニーズに応じ、学校農園にリーダー、サポーターを派遣 ・地元町内会、学校関係者への事前の了解
	・JA大型農産物直売所(セレサモス)を通じた交流の検討	・具体的な取組内容(リーダー・サポーターの人数・募集方法、実施内容・時期等)の検討

区 分		調査検討内容等
会議名	年月日	
第6回区民会	19.10.5	・調査検討経過の報告
[王禅寺小回答]	19.10.9	・具体的な取組内容の回答
第11回専門部会	19.11.2	・事例③の調査検討 ・次に調査検討する事例について
[王禅寺中学校 地域教育会議 議長に連絡]	19.11.24	・これまでの検討経過等を 説明(委員から)
第12回専門部会	19.11.26	・事例③の調査検討 ・事例①、②の今後の進め 方について検討
[王禅寺小学校 に連絡]	19.11.27	・経過説明
[王禅寺中学校区 地域教育会議議長 と面会] (部会長、委員1名)	19.12.5	・これまでの検討経過、交 流イメージ等を説明し、今後 の方向性について協議 ～白山小・中学校との統 合を控え、次年度に地域 教育会議として取り組む のは困難～
第7回区民会	19.12.20	・調査検討経過の報告
第13回専門部会	20.1.23	・事例③の進捗状況報告 ・事例①、②の調査検討
[王禅寺中学校区 地域教育会議議長 と面会](担当委員)	20.2.18	・議長から学校農園の所有 者に連携窓口を依頼し了解 を得た、学校とも調整済み との報告
[王禅寺小学校 に連絡]	20.2.22	・進捗状況等を確認
区民フォーラム	20.2.23	・調査検討経過報告
第14回専門部会	20.3.5	・調査検討結果の取りまと め
第8回区民会	20.3.24	・調査検討経過の報告

事例① 市民農園 及び援農を通じ ての交流	事例② 直売所を通 じての交流	事例③ 食育を通じた 交流
・部会での調査検討 状況報告	・大型農産物直売 所を通じた交流に 関する「課題の解 決策のアイデア」に ついて意見交換	・現在までの進捗状況の報 告、モデル事業実施に向 けた意見交換
	・JA大型農産物直売 所(セレスモス)を通じ た交流の検討	・学校からの回答を受け、 今後の進め方について検討 →地域教育会議に協力を 依頼することが可能か確認 する
・これまでの経過を 説明、委員の意見を 聴いた上、今後の進 め方を検討	・これまでの経過を説 明、委員の意見を聴 いた上、今後の進め 方を検討	・学校訪問結果等を受けて 今後の進め方について検討
・部会での調査検討 状況(相続など 法的な問題、農家 の意向など様々 な制約がある)の 報告	・大型農産物直売 所「セレスモス」を 核とした交流につ いて意見交換	・現在までの進捗状況の報 告、モデル事業実施に向 けた意見交換
・市民農園や援農 への取組を拡充す るためには、農業 従事者の意向が 重要→行政やJA に農業従事者の 意向調査の実施 を依頼	・「セレスモス」を核と して、地産地消や 「農」とのふれあいを 促進する仕組づくりを JAに依頼 ・身近な直売所のマッ プづくりは「セレスモ ス」の運営状況をみて 今後検討	・担当委員より学校と地域 の連携窓口となる候補者との 調整状況を報告
・行政やJAに農業 従事者の意向調 査の実施を依頼	・「セレスモス」を核と して、地産地消や 「農」とのふれあいを 促進する仕組づくりを JAに依頼	・学校農園を通じての地域 づくり→次年度からモデル 校で実施

区の課題

◎課題解決のための調査検討シート ～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題

『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容

～麻生区の特性である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていか～

【課題の絞込み】 ～19. 1. 16～

- ①市民農園及び援農を通じての交流
- ②直売所を通じての交流
- ③食育を通じての交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

①行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進

イ 体験農業 親子で米づくり（区協働推進事業）

↓ ～19.2.14～

【関係者(実行委員長)から意見聴取】

ウ 学校における農業体験、食育に関する取組

↓ ～19.3.7～

【小学校あてアンケートの送付】

②区民等の取り組み

ア 次世代・地域住民との交流事業(JA)

↓ ～19.2.14～

【関係者(JAせせが川崎)から意見聴取】

イ 直売所を通じた農産物の販売

3. 課題の解決策のアイデア

①集会場等で、農家の方から、区民が、料理（梅干、豚汁、たんあん、など）を教えてもらう。

家庭菜園のための知識・ノウハウを教えてもらう。
→教えてもらった人が、さらに初めての人に教える仕組みづくり（農のサポーター）

②行政などが、野菜や花卉の苗・球根を配布し、区民は、その育て方などを教えてもらう。
（柿の木の事例あり、3年で100本の苗配布＝課題・資金）

③畑で、農家から、区民が、いちご等の生産物を、一定単位（畝など）で購入できる仕組みづくり

④市等の広報誌に、児童などが地元の農家にヒアリングし、記事を作成・掲載

⑤区民の生ごみの堆肥化を促進し、その堆肥を地元農家に利用してもらう。

【学校関連】

⑥「給食だより」に、農家あるいは児童が、地元農家や農産物の紹介等の記事を作成・掲載

⑦学校の花壇に、球根や農家で売れ残った花などを植えに行く。

⑧学校の花壇を畑に転用

⑨アンケート結果の取りまとめ、情報の提供

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

①短期的対応策

ア 小学校におけるアンケート結果の取りまとめ・情報の提供（各小学校、教育委員会、関係機関等）

イ 食育を通じての地域の交流（モデル校）
・農業指導者の派遣
・学校農園サポーターの募集・派遣

ウ 食育推進会議との連携

■達成期間
平成20年度～

■主な担い手と役割
○区民
・農業従事者、経験者の派遣
・農の市民サポーター

○区
・農業従事者、サポーター等の募集・紹介
・取組事例の広報

○市
・教育委員会、経済局、健康福祉局等による事業の推進

■予算見込額の検討

■予算確保の手法

■関係部局
・教育委員会
・経済局
・健康福祉局

②中・長期的対応策

ア 食育を通じての地域の交流（各小学校）

イ 食育推進会議との連携

■達成期間

■主な担い手と役割
○区民
・農業従事者、経験者の派遣
・農の市民サポーター

○区
・農業従事者、サポーター等の募集・紹介
・取組事例の広報

○市
・教育委員会、経済局、健康福祉局等による事業の推進

■予算見込額の検討

■予算確保の手法

■関係部局
・教育委員会
・経済局
・健康福祉局

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア 食育を通じた地域との交流

イ 地産地消の推進

7. 課題解決に向けた取組

ア 関係機関等へのアンケート結果の情報提供

イ 農業従事者、経験者、学校農園サポーターの募集や支援を希望する小学校への派遣

6. 総合計画上の位置付け

ア 人を育て心を育むまちづくり

イ 環境を守り自然と調和したまちづくり

ウ 個性と魅力が輝くまちづくり

エ 参加と協働による市民自治のまちづくり

8. 課題解決への取組

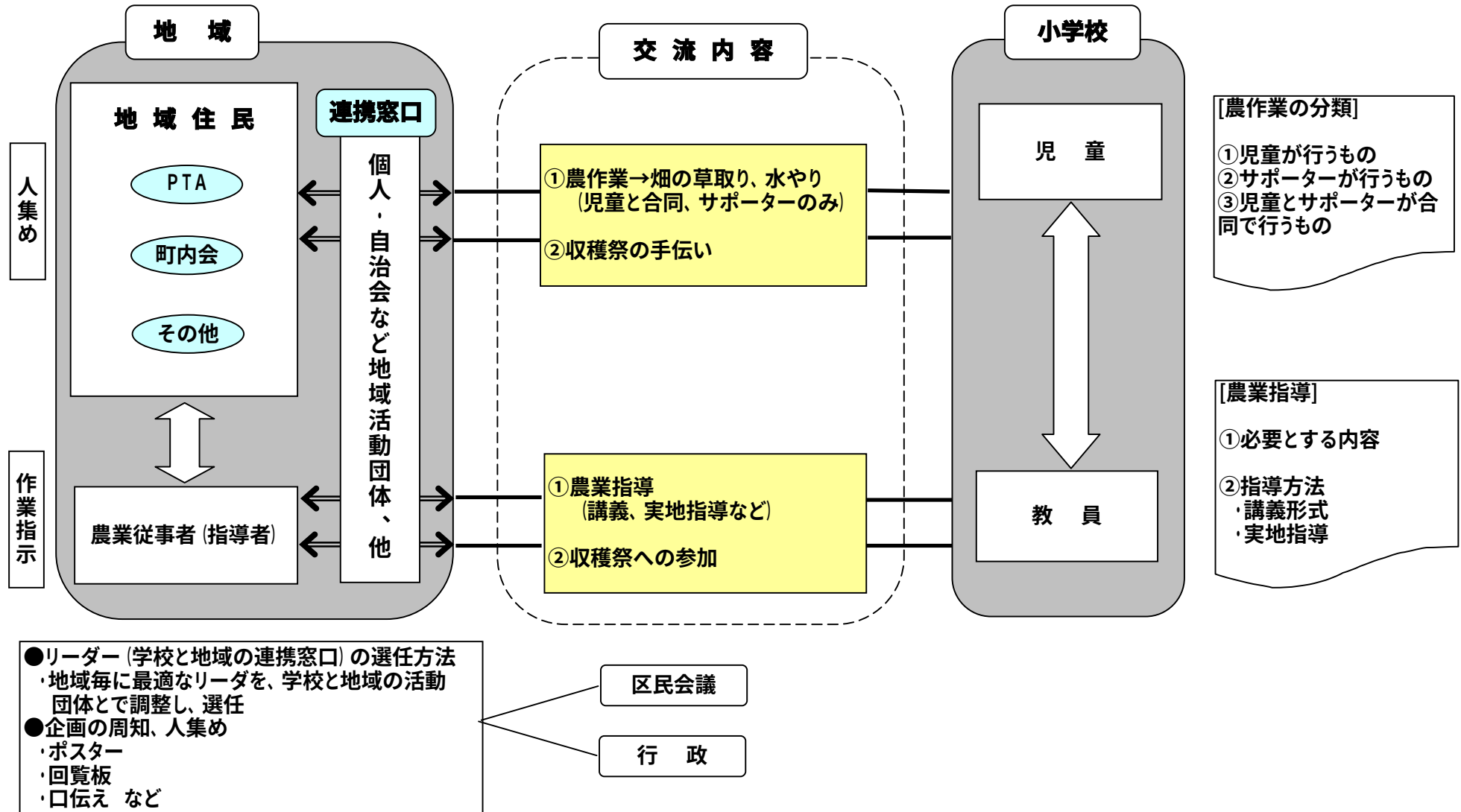
の評価、進行管理

①評価

②進行管理

農業体験、食育を通じての交流イメージ

目的＝地域のつながりをつくる



区の課題

◎課題解決のための調査検討シート ～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題

『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容

～麻生区特性である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていくか～

[課題の絞込み] ～19. 1. 16～

- ①市民農園及び援農を通じての交流
- ②直売所を通じての交流
- ③食育を通じての交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

①行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進

- ・花と緑の市民フェア
- ・品評会、園芸博覧会
- ・畜産まつり など

②区民等の取り組み

- ア 次世代・地域住民との交流事業(JA)
- イ 農業まつり、園芸まつり(JA)
- ウ 「セレサモス」のオープン(JA)
- エ 直売所を通じた農産物の販売 など

3. 課題の解決策のアイデア

①大型農産物直売所「セレサモス」(20年4月26日オープン、麻生区黒川地区)を核とした交流

【情報コーナーを活用した区民との交流の推進】

- ・農家が区民に野菜の調理法を教える。
- ・農家が区民に花や野菜などの栽培方法についての相談・指導を行う。
- ・農産物の収穫期に合わせたイベントを行う。
- ・地元の農産物(禅寺丸柿、万福寺にんじんなど)を展示・販売する。

②身近な直売所のマップづくり

- ・生産者と区民との身近な交流につなげる。
- ・地産地消の取組の促進

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

①短期的対応策

ア「セレサモス」を核として、地産地消や「農」とのふれあいを促進する仕組みづくりをJA等に依頼する。

■主な担い手と役割

- 区民
 - ・地産地消の推進
 - ・生産者・農産物のセレサモスへの出荷

- 区
 - ・取組事例の広報

- 市
 - ・農業公園づくり事業の推進

■予算見込額の検討

■予算確保の手法

■達成期間
平成20年4月～

②中・長期的対応策

ア「身近な直売所のマップづくり」については、「セレサモス」の運営状況をみながら検討する。

■主な担い手と役割

- 区民

- 区

- 市

■予算見込額の検討

■予算確保の手法

■達成期間

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア「農」を通じた農業従事者と区民、区民同士による交流の促進

イ 地産地消の推進

6. 総合計画上の位置付け

ア 環境を守り自然と調和したまちづくり

イ 個性と魅力ががやくまちづくり

ウ 参加と協働による市民自治のまちづくり

7. 課題解決に向けた取組

ア 貴重な地域資源である「セレサモス」を核として、地産地消や「農」とのふれあいを促進する仕組みづくり(農業従事者と区民との交流等)をJA等に依頼する。

8. 課題解決への取組の評価、進行管理

①評価

②進行管理

区の課題

◎課題解決のための調査検討シート ～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題

『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容

～麻生区の特性である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていくか～

[課題の絞込み] ～19. 1. 16～

- ①市民農園及び援農を通じての交流
- ②直売所を通じての交流
- ③食育を通じての交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

①行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進

- ・市民農園
- ・市民農園リーダー養成
- ・農（みのり）の寺子屋 など

②区民等の取り組み

- ア JAふれあい農園
- イ 体験型農園（農地所有者） など

- ・相続など法的問題
- ・農家の意向
- など様々な制約がある

3. 課題の解決策のアイデア

①農家に対する意向調査の実施を行政やJAに依頼する。

- ・市民農園を拡充することはできないか。
- ・農作業を区民が手伝うことはできないか。

②次世代育成、農地の適正利用、区民が「農」に親しむための施策への支援

- ・地元農産物の購入
- ・農業イベント、農業体験への参加
- ・都市農地が持つ社会的・公益的価値の理解・評価
- ・里地・里山の保全への取組

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

①短期的対応策

ア 農業従事者に対する意向調査の実施を行政やJAに依頼する。

■主な担い手と役割
○区民

○区

○市
・農家への意向調査実施に向けた検討

■予算見込額の検討

■予算確保の手法

■達成期間
平成20年度～

■関係部局、機関
・経済局
・JAセレサ川崎

②中・長期的対応策

ア 次世代育成策の推進

イ 農地の適正利用策の推進

ウ 区民が「農」に親しむための施策の検討

■主な担い手と役割
○区民

○区

○市

■予算見込額の検討

■予算確保の手法

■達成期間

■関係部局
・経済局
・JAセレサ川崎

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア 農業従事者の意向を把握することで、市民が「農」に親しむための施策につなげることができる。

6. 総合計画上の位置付け

ア 環境を守り自然と調和したまちづくり

イ 個性と魅力がかがやくまちづくり

ウ 参加と協働による市民自治のまちづくり

7. 課題解決に向けた取組

ア 市民農園や援農への取組みを拡充し、市民が「農」に親しみ、農業従事者と交流を図るためには、農業従事者の意向を知ることが重要

↓
行政やJAに農業従事者に対する意向調査の実施を依頼する。

8. 課題解決への取組 の評価、進行管理

①評価

②進行管理